Kamagaya International Friendship Association

K·I·F·A Plaza

第6号

1990年6月15日発行
〈発　行〉
鎌ケ谷市国際交流協会
編集・広報部会

活動報告

1989年度語学研修講座 合同閉講式

特別企画	Internationalで行こう④	2・3面
写真特集	閉講式、G・クラーク氏講演会	4・5面
活動報告	部会ズーム・アップ。表紙は語る	6面
SAY,"young"	カルチャーショック	7面
あReこRe	スコットランドのお昼どき。事務局から。ほか	8面

あの踊り思い出せるかしら

インドネシアに住んでいた桑原さんは今でもその時習ったバリダンスに熱い思いを寄せています。今日はその衣装を出してもらって、現地の人との交流をなつかしんでいただきました。

（モデルは黒川正子さん。関連記事6面）

特別企画

Internationalで行こう！

④今、鎌ヶ谷の官公庁では

地方の国際化が叫ばれています。「その地方の市町村の機関がどんなふうに外国人に対応しているか」がその場所の国際化の指標になるという人もいます。さて、鎌ヶ谷市の国際化はどんなものかと、市役所市民課、教育委員会、郵便局、消防署を訪ねてみました。

あたたかい目と心で接しています

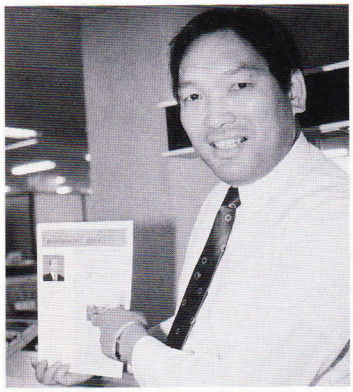
市民課

勝見市民課長

日本へ来た外国人は、自分の住もうとする市町村で外国人登録をすることになっています。そこで鎌ヶ谷へ来た外国人がまず訪れるのが、その手続きを担当する市民課。国際化の進んでいる現在、その実態はどんなものかと勝見市民課長、斉藤窓口係長のお二人に尋ねてみました。

「18ヵ国、262名になるんです」勝見課長が調査表を手に説明して下さる。３月31日現在の外国人登録の人数である。その表にはキューバ、パラグァイ、ブラジルなどの国名も。これだけ多くの国から来ていれば当然「ことばの問題で、ご苦労が」の問いに、「あまり困ったことはないようですね」と課長の答え。さすが鎌ヶ谷の市民課と感心していると「付添の人がみんな用を足してくれるんです」と横から笑いながら斉藤係長。

ともかく想像以上に多くの国の人が、この鎌ヶ谷市に住んでいる。市民課の仕事は登録事務だけでなく、外国人の中には印鑑登録から国民健康保険の申し出もある。日本人でも面倒だと思う、これらの手続きが外国の人を相手に今まで何のトラブルもなく行われてきたという。「あたたかい目と心で接してあげよう」という市民課全員の心遣いがそれを成し遂げたのであろう。



▲「英文のパンフレットをもっと利用してほしい」と斉藤係長

――でも、これからは人数も増えて大変でしょう。

確かに外国人登録は増えるでしょう。今まで接した外国の方は例外なく朗らかで、あまり苦労はしませんでした。でも、これからは予想もしない国から来る人もいるでしょうし。窓口の職員が外国語ができて、直接本人と話せ、付添ってきた人は単なる立会人という形になれば一番理想的なのでしょうけど。

――将来、市役所の中でこうしたいということは

庁舎内に外国語の案内板が要るのではないでしょうか。現在、“クロスロードちば”という英文のパンフレットがあるので、これを有効に利用していただきたい。

「今、福祉事務所には手話通訳の人が常駐していますね。それと同じように通訳ボランティアの方に常駐してもらえるようになればいいのですが」と最後はＫＩＦＡに対する要望もしっかりといただいた。

すばらしい語学指導者招致事業

教育委員会

加藤指導主事

「すばらしい成果ですよ。英語の時間に生徒の目の色が違ってきました」昨年８月から市内の中学校で始まった外国人語学指導者招致事業の効果を市教育委員会加藤指導主事はこう切り出して説明して下さった。

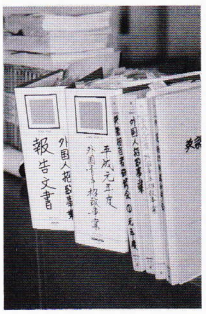
Ｗ・バークさん、ジャネット平野さんのコンビで始まったこの事業は正式には日本人の英語の先生と組んで助手として英語の指導を行うというものだ。ところが、異文化に初めて接する生徒の好奇心と両先生の人柄とでクラスの人気は一挙に青い目の教師に集中したらしい。

――具体的にはどのように巡回して教えるのですか

市内にある５つの中学に２週間単位で巡回しています。もちろん二人が別の学校に行くわけです。このように回っていけば、各校とも１～３学年全クラスに年間16～20時間教える形になります。

――何が生徒をひきつけたのでしょうか

いろいろありますが、私は次の４点にまとめてみました。①最初の授業で全員と握手するなど楽しい教え方になっている②資料をたんねんに作って指導法に優れている③繰り返し練習して力のつく英語を実行している④課外にはグラウンドを生徒と一緒に走るなど教育に対する熱意にあふれている。



◀事務局にも「外国人招致事業」の書類が増えてきた。

――この事業の将来展望は

これからも指導者を増やしていきたいですね。そして、できることなら外国人との交流の楽しさを小学生にも味わわせてやりたいものです。また私個人の考えになりますが、中学生に外国訪問の体験をさせたい、近隣の市でやっているところがありますから。

教育委員会には、このほか帰国子女の指導の問題また登録外国人の子弟の入学問題など、いくつかの難問が控えている。その円滑な運営には豊かな国際知識と繊細な国際感覚が要求される。教育であるから、単に教育委員会や学校の関係者だけでなく市民全体の理解が必要であろう。今、W・バークさんやジャネット平野さんが行っている授業がただ生徒の英語の力をつけるだけのものでなく、子供を通じ、父兄を通じて鎌ヶ谷市民全体の国際感覚を高めるものになってほしいと願わずにはいられない。

古屋郵便課長

国際郵便は世界をつなぐ

鎌ヶ谷郵便局

わが国の発展にともない郵便物も国際化を迎えています。鎌ヶ谷郵便局本局でお話を伺いました。

――まず郵便業務の概要を教えて下さい

我が鎌ヶ谷市の郵便局本局は総員80名で、郵便物の取扱い量は、平成元年で年間約1019万件の配達、及び345万件の受付がありました。その内国際郵便は配達が約年間5万件、受付が4万件程です。国際便の場合やはりクリスマスの前後が最も多忙です。

――国際郵便とはどんなものですか？

国際郵便には、通常郵便、小包郵便、ビジネス郵便と電子郵便（INTELPOST）があります。また通常郵便と小包郵便には航空便と船便があります。

――国際郵便の配達での問題点は？

やはり宛名書きですね。日本の住所表示が良くわからないためか、町名が良くわからないとか、書いてないものもあります。極力配達したいので電話番号帳で調べることもあります。

――受付での言葉の問題は？

外国の方の受付はもちろん言葉の問題がありますが、一般的には業務上数字で済む事が多いので、数字だけの筆談がかなり役立ちます。しかしアラビア数字でも国によって数字の書き方が違うので注意が必要です。また小包み等ではサイズ、重量等の制限についての説明に困ることもあります。窓口には英文のパンフレットも用意してありますが、最近はパキスタン、バングラデシュ等、欧米語圏外の方も多くなっています。

――その他受付での問題点は？

例えばフィリッピンの方等で、お国柄でしょうか、小包の包装の上にガムテープをいっぱい貼ってしまうので、所用のスタンプ等を押せず困ることもあります。

今後の国際郵便の増加には？との問いに、頑張って対応するとの力強い答えでした。取材に当たっては、古屋課長を始め井出課長、桜井、柴崎、鮎川、伊藤の各主任の協力を戴きました。今後とも国際交流情報の一翼をになう郵便局の皆さんの活躍を期待しています。

119通報は日本語で

鎌ヶ谷市消防本部

火事、事故、急病と私たちがピンチにおちいったときの強い味方は消防署。それは鎌ヶ谷市で生活する外国人にとっても同様でしょう。在住外国人が増えるなかでどのような対策がとられているのか、鎌ヶ谷市消防本部にきいてみました。

――在住外国人からの119通報はありますか？

昨年度は5件外国人の救急患者がありました。いずれも近くの日本人が通報してきましたから特に困ることなく対応できました。このところ年々件数が増えています。

――外国語の119通報も受けることができますか？

現在は受けられません。外国語で意志の疎通ができる職員を24時間置けないので。日本語で「カジデス」とか「キュウキュウデス」と知らせてください。自分の命を守る緊急用の日本語はぜひおぼえておいてもらいたい。そのために在住外国人むけに"How To Make Emergency Calls"という英文のチラシをつくっているところです。

――市民として消防署に協力できることはありますか

以前に市内で実際にあったことですが、外国人の家で夜中に火事がおこり「スミマセン、スミマセン」と叫んでしらされました。ところが近所の人は何が起きたのかがよく分からず、消火活動が遅れてしまったことがありました。ですから「カジデス」など基本的な日本語を教えてあげる。そのように叫ばれたときには助けにかけつけ、119通報をしてあげる。これらに協力してもらえれば消防としても的確に対応できると思います。

◀通報を受け救急車の出動を指示する司令室

また、消防本部では要望があれば「火災予防講習会」を出張して開きます。初期消火のしかた、消火器の使い方などを体験しながらおぼえられます。希望者が10名ほど集まればどこにでも出向きます。必要なら通訳ボランティアをお願いして、外国人も交えた「国際交流・火災予防講習会」を開くのはいかがでしょう。

さすが流ちょう

1989年度語学研修

昨年９月13日から始まった語学研修講座（英語
終了しました。そのしめくくりとして、３月11日
当日は各講座の受講生代表が流ちょうな英語、
で講師に花束が贈呈されました。そのあと岡本部
重な体験談を聞き、パーティーに移りました。最
いお話で有意議な閉講式を終えました。

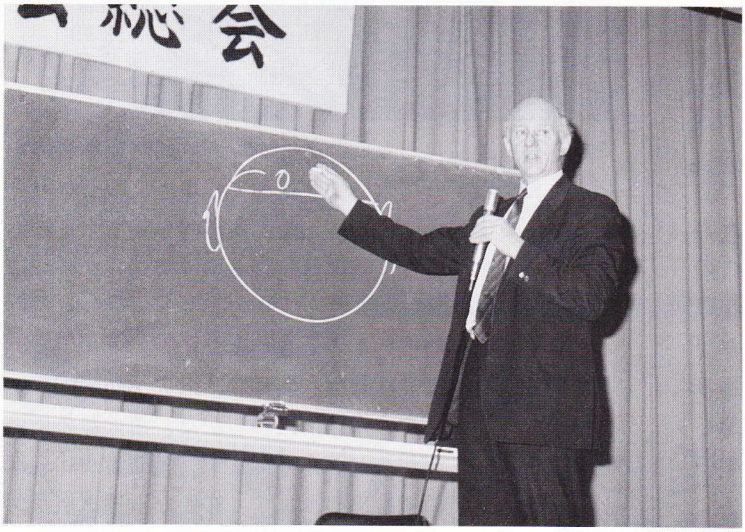
拍手の思いはさまざま
……修了生のみなさん

歌う英語会話クラス

木村・エリザベス講師
（英語会話）

ジョン・ウ
（英語会話

先生ありがと



〝話せる英語〟を力説するＧ・クラーク氏

『ユニーク

グレゴリー

プロフ

1936年英国生まれ、現在、

体験談をまじえたユーモアたっぷりの講演に、協会員や一般市民、約120名の参加者はしばし、和やかなふん囲気に包まれました。

４月21日、春の雨が路面をぬらしたこの日、1990年度の総会終了後、グレゴリー・クラークさんを講師にお招きして、ＫＩＦＡ主催の講演会がひきつづき視聴覚ホールで開催されました。

東洋文化に造詣が深い氏は、キリスト教に端を発した西洋の絶対主義、合理主義の文化と比較して、東洋の仏教文化との相違点を述べ、中でも日本人の価値観が大きく異なることを説きました。

特に、日本の文化は恥社会であるにもかかわらず、道

な英語中国語の謝辞

講座合同閉講式

会話４講座、中国語会話２講座）は３月２日で
に市役所５階で合同閉講式が行われました。
中国語で謝辞を述べ研修の成果を被露し、つい
会長の「外国語を話す楽しさ難しさ」という貴
後は秋山副会長の「世界を旅して」という楽し

〝長期間の学習ご苦労さまでした〟

リアムス講師

金子夏実講師
（潘　雲芬）
（中国語会話）

うございました

ひと味ちがった旅のお話
……秋山副会長

な日本人』
クラーク氏

ール
上智大学比較文化学部教授

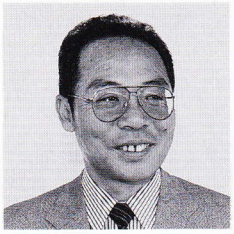
徳観念の希薄、神仏の同時信仰、また異文化を何でも吸収してしまう特性など、自己主張のない集団主義であることを強調されました。

これは、日本が島国であり、家族主義であることに起因し、閉鎖的な思考の中で文化に対しては低く、外国人への壁は高く、登録証携帯義務の現実を重ね「これからは国際交流のなかで外国の左利きの合理主義、価値観を学ばなければなりません」と明言し、ユニークな日本人を的確に分析されました。

数ヵ国語を駆使する氏は最後に、日本の英語教育にふれ「耳からインプットしたものを口から出す方式に移行しなければ一生の悲劇である」と結びました。

楽しいお話を熱心に聞くみなさん

今年度も一層のご協力を



会長　佐々木武二郎

今回、再び会長をお引き受けすることになりました。国際化が進む中、ＫＩＦＡの事業がますます重要となって参ります。会員の皆様の一層のご協力により立派な協会を築き上げたいと考えております。

派遣部会長　荒井　茂行

今年度は姉妹都市が検討されるという時で、派遣事業はますます重要性を帯びてきます。さらに内容を充実し、十分な成果をあげられる派遣事業にしたいと考えています。

研修部会長　岡本　靖子

一昨年度、昨年度と初級、中級を中心とした語学研修でしたが今年度は上級コースまで考えてみたい。一歩いっぽ着実に前進を図っていくつもりです。

交流部会長　藤谷　淳子

昨年度は料理を中心とした文化交流に努めて参りましたが、本年度はそれに加えて音楽を中心とした交流も図りたい。若い人を柱とした明るい音楽交流を考えています。

広報部会長　太田常志美

皆さんの優しい心に支えられ生み出す紙面のひとコマに、ＫＩＦＡの源「心のふれあい」を感じます。今、ＫＩＦＡ plaza が多くのみなさまに親しまれ、また、豊かに育つ若人の指針ともなるよう努力していこうと思います。

表紙は語る

インドネシアのバリ島をご存知でしょうか。「地上最後の楽園」ともいわれて、日本人の観光客が近年ずいぶん増えたところです。この島は民族舞踊の盛んなところで、バリダンスはインドネシアを代表する踊りのひとつです。衣装を貸していただいた桑原照代さん（佐津間677）〔写真〕から話を伺いました。

「この衣装はパンジ・スミラン(Panji Semirang)という踊りで王子の役が着るものです。私は夫の任地のジャカルタで１年ばかり過しました。この時ジャパンクラブのバリダンスサークルに入って、この踊りを習いました。先生はインドネシアの方で交流にも大変役に立ちました。踊りで手の動きや目の使い方にとても興味を持ったので練習の日が待ち遠しかったものです。この衣装が気に入ったので購入して帰国しました」

（今回は都合により会員登場は休みます）

市内の金融機関もＫＩＦＡの事業に協力しています

三和銀行	京葉銀行	千葉銀行
船橋支店 鎌ヶ谷特別出張所	鎌ヶ谷支店	鎌ヶ谷支店
鎌ヶ谷市富岡１－９－25	鎌ヶ谷市鎌ヶ谷１－５－36	鎌ヶ谷市富岡２－１－１
☎０４７４（４３）７１２１	☎０４７４（４３）３４１１	☎０４７４（４４）２１１１

カルチャーショック

初めて見知らぬ土地に足を踏み入れたとき、あなたはどんな印象を受けましたか？びっくりしたり、感心したり、困ったりと色々な経験があるのではないでしょうか？

このページでは、そんな様々な声を集めてみました。さてさて、いったいどんな話がとびだすやら……

生活するための三大要素といえば「衣・食・住」。これらにまつわる体験は強烈な印象となるようですね。特に食べ物のことやトイレに関することは。そこで……

アメリカにて

○さすがでっかい国、食べ物の量までパワフル！だけど朝からこってり甘い物を食べさせられた時にはまいった。

○レストランで食事をした時、食べ残した物を持って帰る人がいた。レストランには残した物を持ち帰れるような容器が用意されているみたいで、お店の人に言えば、快く持って来てくれる。食べ残しなんてどんどん捨ててしまうのだと思っていたのでちょっとびっくり。でも、オバタリアンでなくても堂々と持って帰れるなんて、さすがアメリカ!?（T.Y/S.W）

エジプトにて

○ツアーの途中に立ち寄ったレストランには猫がいた。猫嫌いの私は一瞬ゾッとして、ガイドさんに猫がいる理由を尋ねたら「ネコが店内にいるってことは、おいしいお店の証拠なの」と言われた。確かにおいしかったけど、猫嫌いにはちょっと……（Y.S）

ドイツにて

○生水の飲めない外国、毎日ジュースばかり飲んでいたので水が恋しくなり、ミネラルウォーターを買いに行った。これでやっと水が飲める、と思ったのもつかの間、なんと炭酸水ではないか！他のメーカーのものも、あれもこれも、紅茶にまで炭酸が入っている。もう最後にはおなかはガボガボ、ゲップの連続。普通の水が飲みたいとこんなに思ったことはなかった。（Y.H）

オーストラリアにて

○お店でコーヒーを注文する場合、"coffee please" とだけ言うと、たっぷりとミルクの注がれたいわゆるコーヒー牛乳がでてくる。ふつうのコーヒーが飲みたいときはちゃんと "Black" と言わないとダメなんだよね。ちなみに、機内食のコーヒーはブラックで、付いてくるコーヒークリームの中身は牛乳だって。（S.W）

イタリアにて

○ローマのホテルで、部屋のトイレが故障してしまったらしく流れない。あせった私と友人はすぐにフロントへ行き、直してくれるように頼んだ。が、なかなか来てくれない。何度も何度も問い合わせ、やっと来てくれたのが3時間後。そして……。ホテルの人はトイレを一目見るなり "No ploblem" と言って立ち去ってしまった……。ローマの人ってのんびりしてるのね。（Y.S）

ハワイにて

○ビーチのトイレにはドアがなく、用を足すときに待っている人と向かい合う姿になってしまう。私はこの時、ワンピースの水着を着ていたので非常に困った。（R.F）

中国にて

○ここのトイレにはドアはおろか、囲いの壁すらないものがあった。いったいどうすればいいの！（T.I）

スリランカにて

○トイレの中には紙がない。便器の側に水桶が置いてあり、その水でおしりを洗い流す。この時使う手は左手。ウオシュレットの原点をみた思いがした。（Y.T）

と言うわけで、今回はごくごく身近なでき事でまとめてみました。この他にも、時流にのった情報や、その地域ならではといった話も多々あるのですが、それらはまた次の機会のお楽しみに。**皆様からのご意見やご感想などもお待ちしています。**

市内の金融機関もＫＩＦＡの事業に協力しています

船橋信用金庫
鎌ヶ谷支店
鎌ヶ谷市富岡１－４－41
☎０４７４（４４）２４１１

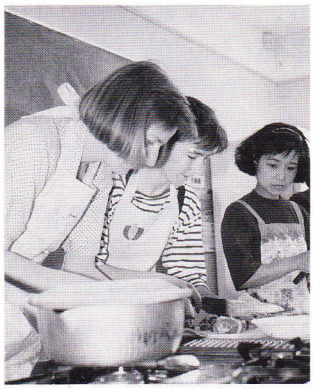
千葉興業銀行
鎌ヶ谷支店
鎌ヶ谷市東初富６－９－24
☎０４７４（４３）６９１１

住友銀行
船橋北口支店 鎌ヶ谷出張所
鎌ヶ谷市東初富４－36－３
☎０４７４（４５）８３１１

スコットランドのお昼どき

5月20日、交流部会は「第4回・世界の文化交流」を南部公民館で開催しました。

講師のハリエット・グラントさん、フィオナ・フレイザーさんを囲み、4つのグループに分かれた参加者30名はスコットランドの家庭料理にチャレンジしました。



メニューは、大麦が決め手の野菜スープ「スコッチブロス」、こんがり風味が食欲をさそう牛肉とポテトのオーブン料理「ホットポット」、ちょっぴり甘いフルーツケーキの「トライフル」の3種類。

日本が大好きという講師のお二人の、終始やさしい説明にどのグループも大成功。「時間はかかるけどとってもカンタン」、「日本の材料を使う心がステキ」、「さっそくわが家のメニューに加えます」と、それぞれに感想を語ってくれた参加者のみなさん。

スコットランドの曲が流れるなか、異国の味を楽しみながら、異文化の話を交わし合ったこの日。さわやかな文化交流のかけ橋となったことでしょう。

1990年度海外派遣者決定!!

7月25日～8月11日（18日間）のアメリカカリフォルニア州への派遣メンバーが決まりました。

●佐藤	肇	東中沢	（派遣リーダー）
●平柄	早苗	東道野辺	（高校1年）
●石川	素子	道野辺	（高校3年）
●竹内	朋子	東道野辺	（専門学校1年）
●廣原	友紀	東道野辺	（予備校生）
●吉野	雅美	中央	（短大2年）
●三野	彰久	くぬぎ山	（大学3年）
●橋都	由香	南初富	（短大1年）

Plaza あRe こRe Plaza

1990年度ＫＩＦＡ総会

去る4月21日冷たい雨のふる中、三橋記念館視聴覚ホールにて1990年度の総会が開催されました。

佐々木武二郎会長、皆川圭一郎名誉会長の挨拶は

・グローバリゼーションが進展する現代における当協会のような“草の根交流”の重要性

・1991年の鎌ヶ谷市市制施行20周年記念事業へのＫＩＦＡの参加について

等々でした。その後、会長の議事進行により、8議案について審議が行われ、出席いただいた会員の皆様のお陰で、総会も無事終了いたしました。総会の概要につきましては、先日、皆様のお手元にお届けいたしましたとおりでございます。

今後もより一層の飛躍を目指してまいりますので、会員の皆様のご協力、ご指導をお願いいたします。

（事務局より）

プラザの泉

There is nobody who has never met with some good chance or other in his life. Simply he has not seized one. (Andrew Carnegie)

かつてその生涯において、何らかの好機に出会わなかった人はいない。ただ、それを捕えなかっただけの話である。

編集後記

☆“進む国際化につれてＫＩＦＡ Plazaも増刊を”の声を受けて今年度から年4回発行とします。非力の広報部会だけでは心細いこと。会員のみなさまのお力添えを切にお願いします。

☆今回の特別企画「Internationalで行こう！」は市内の官公庁を取材しました。街を歩けば外国の方の顔を見ることが多くなったこの頃、官公庁の対応も多様になったはず。外国の人が安心して住める鎌ヶ谷に、というＫＩＦＡの願いを込めて編集しました。

☆昨年度、部会長を務めた新宮敏子が都合により交代。新しく太田常志美が部会長になりました。前任者同様よろしくお願いします。 ……（Ａ）

市内の金融機関もＫＩＦＡの事業に協力しています

三菱銀行
船橋支店 鎌ヶ谷特別出張所
鎌ヶ谷市富岡1－1－2
☎0474（45）2451

第一勧業銀行
鎌ヶ谷支店
鎌ヶ谷市道野辺952
☎0474（42）1121

会費納入のお願い

協会は、皆さんの会費によって支えられています。今年度会費がまだ未納の皆さん、お早目にお願いします。納入方法等につきましては、事務局へお問い合わせください。

ＫＩＦＡ事務局